

幌延町まち・ひと・しごと創生会議員名簿

◆幌延町地域振興（観光）計画検討会

No.	機関	職名	氏名	性別		出欠										備考	
				男	女	会1	W1	会2	W2	会3	W3	会4	会5				
1	幌延市街地区連合町内会	会長	一関 捷治	○		出	出	出									委員長
2	問寒別連合町内会	推薦	丹羽 達雄	○		出		出									
3	教育委員会	委員長	番坂 啓介	○		欠		欠									
4	農業委員会	会長	卯子澤 芳彦	○		出		欠									
5	幌延町老人クラブ連合会	会長	木村 誠	○		出		欠									
6	幌延町観光協会	会長	高橋 秀之	○		出	出	欠									副委員長
7		副会長	遠藤 幸治	○		出		欠									
8		副会長	西澤 裕之	○		出		出									
9		推薦	藤井 サキ子		○	欠	出	欠									
10	幌延町調理飲食店組合	組合長	高橋 秀明	○		出		出									
11		推薦	大森 美香		○	欠		欠									
12	幌延町商工会青年部	部長	宮本 昌和	○		出		出									
13		副部長	岡本 和之	○		欠	出	出									
14	〃 女性部	部長	林 友恵		○	欠		欠									
15	幌延町農業協同組合青年部	部長	藤門 隆司	○		欠		欠									
16	〃 女性部	部長	加藤 美穂		○	欠		欠									
17	幌延町認定こども園父母会	会長	加賀山 奈美		○	欠		欠									
18	遊考会	推薦	足達 純也	○		出		欠									
19	一般公募		長濱 夕哉	○		出	出	出									
20	一般公募		富樫 圭祐	○		出		出									
21	一般公募		村上 拓馬	○		出	出	欠									
22	一般公募		吉原 努	○		欠	出	出									

13 7 9 0 0 0 0 0

◆オブザーバー

No.	機関	職名	氏名	性別		区分										備考	
				男	女	会1	W1	会2	W2	会3	W3	会4	会5				
1	幌延町議会	議長	植村 敦	○		出	出	出									
2	宗谷総合振興局地域政策課	課長	黒田 研一	○		出		出									
3	北大天塩研究林	林長	高木 健太郎	○		出		出									
4	幌延町農業協同組合	組合長	無量谷 稔	○		出		欠									代理：本田
5	北海道旅客鉄道(株)幌延駅	駅長	藤澤 充	○		出	出	出									
6	幌延河川事務所	所長	塚本 博紀	○		出		欠									
7	幌延町商工会	会長	松永 継男	○		出		欠									代理：能藤係長
8	稚内信用金庫幌延支店	支店長	越後谷 英二	○		欠	出	出									
9	幌延建設協会	会長	土屋 昌輝	○		欠		欠									
10	雪印(株)幌延工場	工場長	江藤 正之	○		出		欠									代理：菅井課長
11	北海道電力(株)幌延電力センター	所長	西 也寸志	○		欠	出	欠									
12	幌延深地層研究センター総務・共生課	課長	野上 利信	○		出	出	出									代理：星野副主幹
13	安心生産農園（幌延福祉会）	施設長	高橋 孝治	○		出		欠									
14	幌延町職員組合	執行委員長 代理	倉部 昭子		○	出	出	欠									代理：渡邊書記長
15	宗谷新聞社	豊富支局長	橋詰 博	○		出		出									
16	天塩警察署幌延駐在所	所長	小室 久孝	○		出	出	出									
17	幌延郵便局	局長	佐藤 光浩	○		出	出	出									
18	北海道経済産業局	電力事業課長	高橋 泰宏	○		出		欠									代理：福島課長補佐

15 8 9 0 0 0 0 0

第2回 幌延町まち・ひと・しごと創生会議
幌延町地域振興（観光）計画アクションプラン検討会

日時：平成29年11月1日（水） 午後6時～午後8時
場所：幌延深地層研究センター国際交流施設1階多目的ホール
参加者：別紙参照

《議事概要》

1. 開会

～委員長より開会挨拶

2. 今年度の事業概要

～事務局より資料1を説明

3. これまでの進捗状況について

～事務局より資料2、資料3、資料4を説明

- ・今回は学生を対象にモニターツアーを実施したが、年齢が高い方についても、幌延町の観光について意見を聞くことも必要ではないか。（委員）

⇒現状では幌延町には若い方があまり訪れていない状況である。また、検討ワークショップではアウトドアアクティビティ等のハードな体験もアイデアとして出されたことから、今回は若い方をターゲットとしたモニターツアーを実施した。札幌国際大で観光を学ぶ学生として、幌延町の観光について評価・体験して頂いた。（事務局）

4. 拠点構想について

～事務局より資料5を説明

- ・道の駅を関所と表現しており、道の駅で完結するのではなく、町中やトナカイ観光牧場に繋ぐ導線を考える必要がある。（オブザーバー）

- ・候補地の①番付近に設置する場合、道の駅までのアクセス・導線はどのようになるか？（委員）

⇒本線から取り付け道路を設置し、直接アクセスできるのがベストである。設置箇所によっては、本線と交差する道道沿いに設置し、アクセスする形になる。現状の土地使用状況では、牧草地もあるため、具体の場所については今後検討が必要となる。（事務局）

- ・道の駅を設置するにあたり、開発局に取り付け道路を整備してもらうことが可能か？道道に設置する場合は、幌延町が整備することとなるのか？（オブザーバー）

⇒国道沿道に設置する場合は、開発局の道路工事の中で整備してもらえる可能性がある。国道以外の場合は、施設設置者が取り付け道路を整備するケースが多い。高規格道路の沿道に設置する場合は、道路工事に反映される可能性もあると思うが、設計は先行して行っており、もし開発局に要望する場合は、早急に設置箇所を決めて調整する必要がある。（事務局）

- ・高規格道路の工事はすでに実施している部分もある。もし、今の高規格道路降り口付近が有力であれば、早い段階で開発局に道の駅へのアクセス道路の整備を要望する必要があるか？（委員長）

- ⇒今の高規格道路の降り口は、町道へ繋がることとなる。高規格道路から直接、道の駅に繋がる道路線形にすることは難しい。(事務局)
- ・ 今来訪者が多い道の駅は、国道に隣接している道の駅が多いのではないかと。(オブザーバー)
⇒今の高規格道路降り口付近に設置する場合は、高規格道路を降りて、町道に隣接して設置することになる。(事務局)
 - ・ 関所としてはトイレと自販機を使って、通り過ぎるようなら意味が無い。幌延に人が訪れ、町の業者が潤うようにしないといけないのではないかと。(オブザーバー)
 - ・ どこに設置しても情報コーナー等のソフト面を充実し、人を呼ぶことが必要ではないかと。(委員)
⇒道の駅に立寄り、幌延へ来訪してもらい、豊富から高規格道路に乗り、稚内に行ってもらうのが理想的な導線だと思う。道の駅が幌延町にあることを PR するとともに、道の駅では幌延町で楽しめるメニューづくりと情報提供が必要となる。(事務局)
 - ・ まず施設に寄ってみたいと思わせることが第一歩。施設に立寄ってもらった方に、幌延町の自然や見どころを PR する。食事の提供等は難しい一面もある。誘導・導線型の道の駅が良いのではないかと。(オブザーバー)
 - ・ 国道から離れて設置する故の悩みがある。まずは施設に立寄って貰わないと意味が無い。また、防災という視点では、市街地から離れても意味が無い。(委員長)
 - ・ 高規格道路から降りなくても寄ってもらえる施設が良い。砂川の子供の国のような施設は、高速道路からも一般道からもアクセスできる。利用しやすい施設になるのではないかと。(委員)
 - ・ 幌延の PR が足りないので、PR する場として設置したい。(オブザーバー)
 - ・ 幌延・豊富エリアには道の駅が無いので、将来的に道の駅が町にあっても良い。まずは立寄ってもらうことが大切であり、新天塩大橋の完成後、できるだけ早期に立寄り施設が整備できたら良い。個人的には候補地②番が良いと思う。三日月湖も活用できる。飲食も屋台のようなもので、たとえば町の飲食店それぞれ趣向を凝らした焼きそばを開発し、道の駅ではパック販売し、テイクアウトもできる。町内の飲食店内では焼きそばが食べられるようにしたらどうか。また、幌延町の見どころを情報発信しても良い。(オブザーバー)
 - ・ その町で何ができるか知りたいため道の駅に立寄るが、最近では同じような道の駅が多く、あまり立寄りなくなってきた。最近では、車中泊が増えており、そのような方は、高規格道路は使わず、ゆっくりと一般道で移動する。道の駅にカヌーや釣り、星空観察などの体験できる施設を併設し、町全体をレジャーパーク化するのが良いのではないかと。(委員)
 - ・ 拠点では丁寧な観光案内が重要。パンフレット置いてあるだけではなく、ガイド付きの案内所があれば、様々なメニューを来訪者に案内でき、提供も可能となる。(委員)
 - ・ 候補地①番が良いのではないかと。男性、女性、年代も色々に対応できる観光コースを提案、案内できるようにすれば良い。候補地②番は高規格道路の途中で降りる形となり、降りる人が少ないのではないかと。(一般傍聴者)
 - ・ 幌延らしい拠点であり、2度3度と立寄りたくなる心に残すものにしてほしい。(委員長)
 - ・ 今の天塩大橋は無くなるのか？(委員)
⇒今利用している天塩大橋は、無くなると聞いている。(事務局)
 - ・ 国道40号の利用状況から考えると候補地①番が最も利用者が多い場所になるのではないかと。(委員)
 - ・ 候補地①番は町民利用を考えるとバスの停留所なども必要となる。最近の道の駅は、テイクアウト

がメインとなっており、どのようなメニューを提供しているか情報を知りたい。(委員)

- ・ 幌延に来訪している方から幌延で泊まる場所が無いと言われた。天塩町から通っている人もいるようだ。(委員長)
⇒時期によっては、部屋数が足りない状況にある。最近、相部屋を嫌うため、大きな部屋も少人数での利用となり、部屋数が足りない状況にある。(委員)
- ・ 候補地②番は湿原があり、貴重な花も咲いているようだ。そこを壊してまで施設を設置する必要があるかどうか疑問があるが、湿原の活用も一緒に考えられるのではないか。(委員)
- ・ ドライブ旅行者を立寄らせるためには、道の駅の看板とスタンプだけでも良い。まずは道の駅として立寄ってもらい、立寄った方に幌延のすごいところを知ってもらう。道の駅はブランド化しており、立寄りのきっかけになる。(オブザーバー)
- ・ 町民も足を運ぶ場所が良いのではないか。そういう場合は設置場所についても、考えが変わることもあるのではないか。(委員長)
- ・ 道北の道の駅は、冬場に観光入込みが減るため、経営的に厳しい部分がある。冬の入込みを考えると町民が利用できる施設であることが必要。(事務局)
- ・ 町民も足を運ぶ場所であり、通行止めの緊急避難場所、水害等の防災拠点・避難場所になる施設にしたい。今日の議論はこの辺で終えたいと思う。本日の意見を頭に残して、次回の委員会でも道の駅構想について踏み込んだ議論をしたい。引き続き協力をお願いしたい。(委員長)

5. 今後のスケジュール

～事務局より資料6を説明

- ・ モニターツアーのアンケート調査について、満足度だけではなく、支払い額などの価格についても調査を実施した方が良いのではないか。(オブザーバー)
⇒冬期もモニターツアーを実施したいと考えており、冬期メニューでは価格についても調査を検討する。また、夏期のツアーについても合わせて調査できるか調整したい。(事務局)
- ・ 委員会は年明け3月にも実施することができるのか？(委員長)
⇒昨年度も3月に委員会を実施している。実施は可能と考えている。(事務局)
- ・ 冬期ではスノーシューや豊富町の砂丘林もお勧めである。3月に歩くスキーでパンケ沼に行き、沼の上を歩く体験をしており、機械などの動力に頼らないツアーも良いのではないか。(一般傍聴者)

6. 閉会